

(3) 平成 28 年度 学校目標

学校目標	取組の内容	
	具体的な方策	評価の観点
1 子どもが主体的意欲的になる授業を実行する	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 太田のステージなどのアセスメントを実施し、個別教育計画の作成に活用する。</li> <li>② 個別教育計画見直し日を設定し、個々のニーズに合わせた実践を行う。</li> <li>③ 授業改善プロジェクトを継続し、グループ授業改善日の設定など、システムとしての授業改善を実践する。</li> <li>④ 教室環境整備の一環として、「フロントゼロデー」を設け、教室前面の余分な刺激を減らす取り組みを行う。</li> <li>⑤ 個別教育計画と連動した指導案、指導略案の書式を作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 実施したアセスメントを個別教育計画作成に活用したか。</li> <li>② 個別教育計画の見直しを実施し、授業に活かすことができたか。</li> <li>③ システムとしての授業改善ができたか。</li> <li>④ 「フロントゼロデー」の取り組みを実施したか。</li> <li>⑤ 新しい指導案、指導略案の書式を作成し研究授業等に使用したか。</li> </ul>
2 一人ひとりのニーズに応え共に成長する教育を推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 個々の教育的ニーズに有効な支援ができるような校内研修を実施する。</li> <li>② 障害特性や指導方法についてお互い学び合う学部部門ごとの研修を実施する。</li> <li>③ ICT 推進プロジェクトによるタブレット型端末を活用した指導事例の共有と活用を実践する。</li> <li>④ 関係機関と連携したり、指導方法を確認したりするケース会議を実施する。</li> <li>⑤ 学校アセスメントや新体力テスト、MEPA-II R、太田のステージ評価、広 D-K 式検査、読書力診断検査、PVT-R 絵画語い発達検査等のアセスメントを個々のニーズに応じて実施し授業に活かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 個々の教育的ニーズに適した校内研修が実施できたか。</li> <li>② 学部部門ごとのニーズに即した研修を実施したか。</li> <li>③ タブレット型端末の活用が増えたか。</li> <li>④ 課題解決につながるケース会議を実施したか。</li> <li>⑤ 個々のニーズに応じてアセスメントを実施し授業に活かすことができたか。</li> </ul>
3 学校及び地域社会での一貫したキャリア教育を実行する	<ul style="list-style-type: none"> <li>① キャリア教育の視点で卒業後の生活をイメージしながら、支援の方向性を検討していく。</li> <li>② 個別の支援計画と連動した進路指導や支援を行う。</li> <li>③ 近隣の幼稚園・保育園・小中学校・高等学校・大学等との交流及び共同学習を実施する。</li> <li>④ 地域の商店会・企業等地域資源と連携したキャリア教育に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 卒業後の生活をイメージして方向性を検討できたか。</li> <li>② 生徒一人ひとりのニーズに即した進路指導や支援ができたか。</li> <li>③ 近隣の幼稚園・保育園・小中学校・高等学校・大学等との交流及び共同学習ができたか。</li> <li>④ 地域の商店会・企業等地域資源の活用や連携ができたか。</li> </ul>
4 地域の支援教育センターの役割を実行する	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 相模原市内の支援教育の充実を目指して、インテーク会議の実施、各種研修会への講師派遣、学校コンサルテーション、教育相談等を行う。</li> <li>② 乳幼児相談を充実させ、相模原市内の難聴児学級や弱視学級と連携し、早期発見、早期療育を支援する。</li> <li>③ 学校行事や様々な機会を通して、地域に開かれた学校づくりをすすめる。</li> <li>④ 校内のインクルーシブ教育推進のため、学部・部門・学年を超えた共同学習を継続、発展させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① インテーク会議の実施、各種研修会への講師派遣、学校コンサルテーション、教育相談等ができたか。</li> <li>② 難聴児学級や弱視学級と連携した支援ができたか。</li> <li>③ 施設開放、学校へ行こう週間、福祉機器展、全校交流デー、ゲストティーチャー、NPO・公民館等との連携、地域イベント・作品展等への参加ができたか。</li> <li>④ 学部・部門・学年を超えた共同学習を継続、発展させ、課題等を整理することができたか。</li> </ul>
5 教育環境の整備及び防災教育を推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 安心して安全な校舎管理及び校地整備のための方法を検討し推進する。</li> <li>② 緊急捜索、不審者対応、救急搬送等の訓練を実施するとともに、マニュアルの見直しや修正を行う。</li> <li>③ 保護者や地域を巻き込んだ防災研修を実施し、防災教育を推進する。</li> <li>④ 福祉避難所としての機能を研究し、相模原市や関係機関との連携を推進していく。</li> <li>⑤ 不祥事防止会議や全校打ち合わせ、学部会等を通して情報を共有し、不祥事防止の徹底を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 安心して安全な校舎管理及び校地整備のための方法を検討し実施できたか。</li> <li>② 緊急捜索、不審者対応、救急搬送等の訓練を実施し、マニュアルの見直しや修正を行うことができたか。</li> <li>③ 防災研修や防災教育を実施できたか。</li> <li>④ 福祉避難所としての機能を整備できたか。</li> <li>⑤ 不祥事防止のための情報を共有し、課題を把握できたか。</li> </ul>